

令和6年 沖縄県青年農業者等実態調査結果の概要

令和7年8月12日

沖縄県 営農支援課

本調査は、令和6年1月1日から12月31日までの間に、年間150日以上農業に従事した者（年の途中から新規に就農した者は150日以上従事すると見込まれる者）を対象に、市町村、沖縄県農業会議、（公財）沖縄県農業振興公社、農業大学校、農業改良普及センター及び農林高校から回答を得た数を集計したものである。

- ① **新規就農者** 18歳以上65歳未満で、調査対象期間内に新規に就農した者
- ② **青年農業者** 18歳以上45歳未満で、年間150日以上農業に従事している者
- ③ **中高年農業者** 45歳以上65歳未満で、年間150日以上農業に従事している者
- ④ **新規学卒就農者** 学校を卒業し、他産業に従事せず就農した者
- ⑤ **Uターン就農者** 農家出身で、他産業を離職後就農、または在宅兼業から就農した者
- ⑥ **新規参入者** 非農家出身者、または、農家出身で自家以外に農地を取得し就農した者

※農業経営基盤強化促進法施行規則の改正に伴い、平成26年調査から「新規就農者」、「青年農業者」及び「中高年農業者」の年齢を下記のとおり変更している。

	（平成25年まで）	（平成26年から）
新規就農者	： 15歳以上65歳未満	→ 18歳以上65歳未満
青年農業者	： 15歳以上40歳未満	→ 18歳以上45歳未満
中高年農業者	： 40歳以上65歳未満	→ 45歳以上65歳未満

1. 新規就農者

(1) 県全体の新規就農者数の状況

令和6年の新規就農者数は291人となっており、前年の305人から14人減少となっている。

新規就農者のうち、青年農業者（45歳未満）は166人（57.0%）、中高年農業者（45歳以上）は125人（43.0%）となっている。

図－1 新規就農者数の推移（過去5年間）

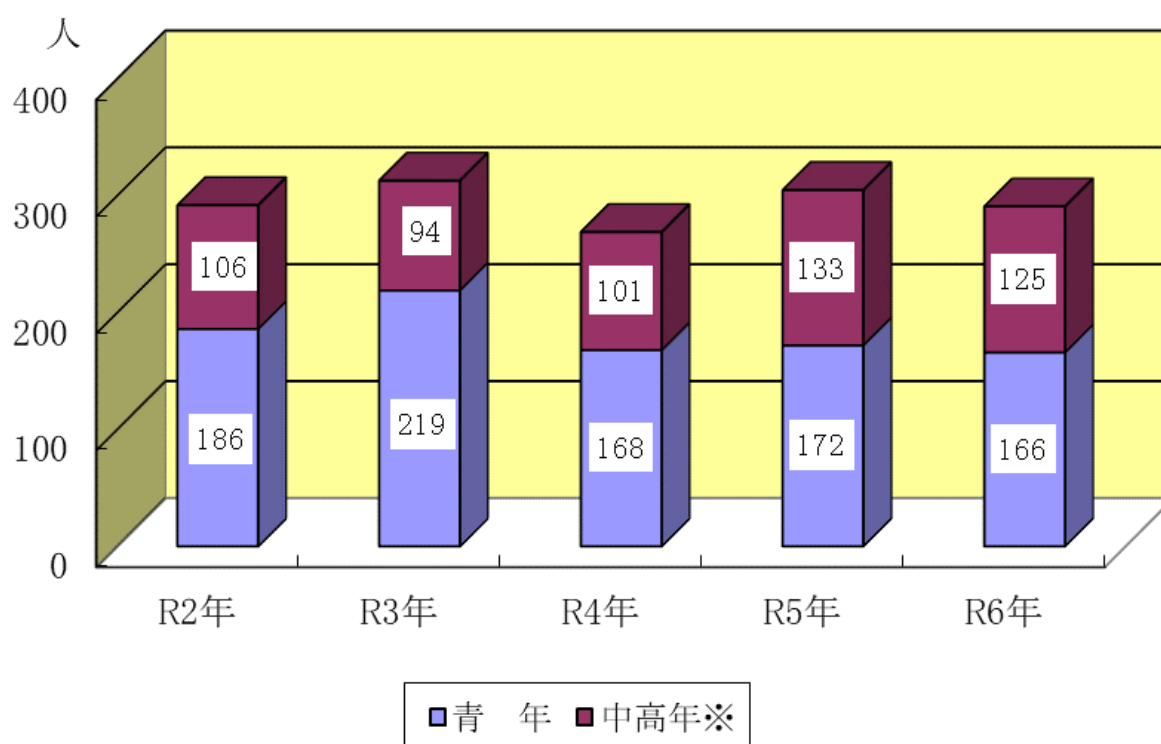


表-1 新規就農者の状況（県全体）

（単位：人、％）

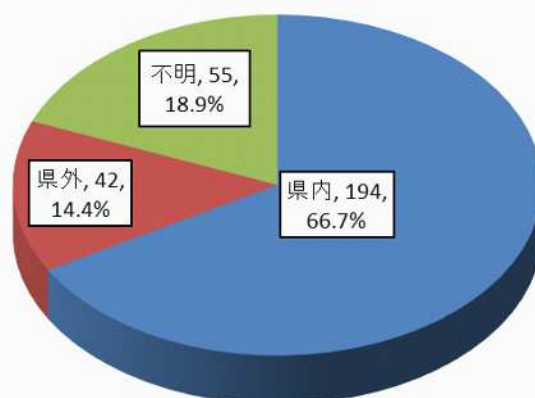
	R2年	構成比	R3年	構成比	R4年	構成比	R5年	構成比	R6年	構成比
青 年	186	63.7	219	70.0	168	62.5	172	56.4	166	57.0
中高年※	106	36.3	94	30.0	101	37.5	133	43.6	125	43.0
計	292		313		269		305		291	

※法人及び不明含む

（２）新規就農者の出身地の状況

令和６年の新規就農者を出身地別に
見てみると、県内出身者が194人（66.7
%） 県外出身者が42人（14.4%）、不明
が55人（18.9%）となっている。

図－２ 新規就農者の出身地の状況



（３）新規就農者の就農類型別の状況

新規就農者の就農類型別では、新規学卒就農者（農業大学校を新規に卒業した中高年者を含む）が20人で全体の6.9%となっており、Uターン就農者が15人で5.2%、新規参入者が218人で74.9%、不明が38人で13.1%となっている。

図－３ R5新規就農者の就農類型

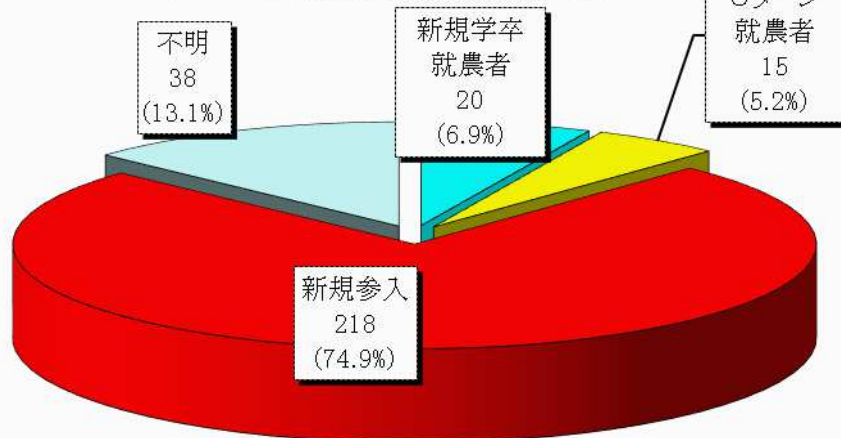


表-2 新規就農者の就農類型（過去5年間）

（単位：人、％）

	R2年	構成比	R3年	構成比	R4年	構成比	R5年	構成比	R6年	構成比
新規学卒	14	4.8%	32	10.2%	22	8.2%	18	5.9%	20	6.9%
Uターン	33	11.3%	32	10.2%	49	18.2%	21	6.9%	15	5.2%
新規参入	163	55.8%	185	59.1%	152	56.5%	206	67.5%	218	74.9%
不明	82	28.1%	64	20.4%	46	17.1%	60	19.7%	38	13.1%
計	292	100%	313	100%	269	100%	305	100%	291	100%

(4) 各地域別新規就農者数の状況

①北部地域

令和6年の新規就農者数は78人で、前年比4人の減少となった。北部地域の新規就農者が全体に占める割合は26.8%となっている。

②中部地域

令和6年の新規就農者数は63人で、前年比2人の減少となった。中部地域の新規就農者が全体に占める割合は21.6%となっている。

③南部地域

令和6年の新規就農者数は46人で、前年比6人の増加となった。南部地域の新規就農者が全体に占める割合は15.8%となっている。

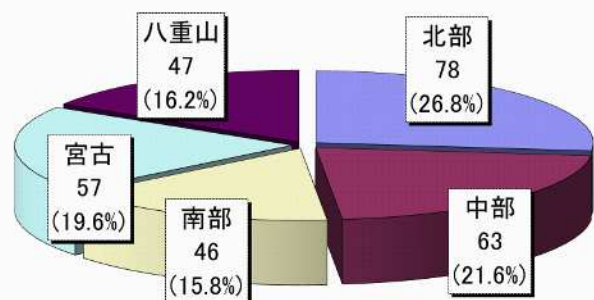
④宮古地域

令和6年の新規就農者数は57人で、前年比3人の減少となった。宮古地域の新規就農者が全体に占める割合は19.6%となっている。

⑤八重山地域

令和6年の新規就農者数は47人で、前年比11人の減少となった。八重山地域の新規就農者が全体に占める割合は16.2%となっている。

図-4 各地域別新規就農者の状況



(単位:人、%)

	新規 就農者数	構成比
北部	78	26.8
中部	63	21.6
南部	46	15.8
宮古	57	19.6
八重山	47	16.2
計	291	

表-3 新規就農者の状況(各地域別)

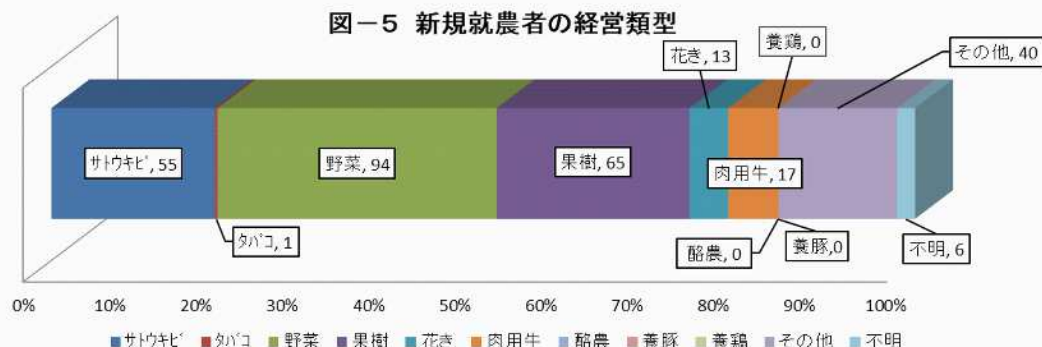
(単位:人、%)

		R2	構成比	R3	構成比	R4	構成比	R5	構成比	R6	構成比	全体に占める割合
北部	青 年	42	57.5	60	63.2	57	65.5	59	72.0	53	67.9	26.8
	中高年※	31	42.5	35	36.8	30	34.5	23	28.0	25	32.1	
	計	73		95		87		82		78		
中部	青 年	29	76.3	23	63.9	23	62.2	32	49.2	27	42.9	21.6
	中高年※	9	23.7	13	36.1	14	37.8	33	50.8	36	57.1	
	計	38		36		37		65		63		
南部	青 年	53	86.9	82	86.3	42	80.8	37	92.5	42	91.3	15.8
	中高年※	8	13.1	13	13.7	10	19.2	3	7.5	4	8.7	
	計	61		95		52		40		46		
宮古	青 年	26	35.1	26	59.1	27	51.9	22	36.7	21	36.8	19.6
	中高年※	48	64.9	18	40.9	25	48.1	38	63.3	36	63.2	
	計	74		44		52		60		57		
八重山	青 年	36	78.3	28	65.1	19	46.3	22	37.9	23	48.9	16.2
	中高年※	10	21.7	15	34.9	22	53.7	36	62.1	24	51.1	
	計	46		43		41		58		47		
全 体	合計	292		313		269		305		291		

※法人及び不明含む

(5) 新規就農者の経営類型

県全体の新規就農者の経営類型では、野菜が94人(32.3%)で最も多く、果樹が65人(22.3%)、さとうきびが55人(18.9%)の順となっている。



(6) 各地域別新規就農者の経営類型

①北部地域

北部地域の新規就農者78人の経営類型は、果樹が32人(41.0%)で最も多く、次いで野菜が20人(25.6%)、その他が14人(17.9%)の順となっている。

②中部地域

中部地域の新規就農者63人の経営類型は、野菜が30人(47.6%)で最も多く、次いで果樹が11人(17.5%)、その他が5人(7.9%)の順となっている。

③南部地域

南部地域の新規就農者46人の経営類型は、野菜が32人(69.6%)で最も多く、次いで果樹と花きが4人(8.7%)、その他3人(6.5%)の順となっている。

④宮古地域

宮古地域の新規就農者57人の経営類型は、さとうきびが38人(66.7%)で最も多く、次いで野菜と果樹が9人(15.8%)、その他1人(1.8%)の順となっている。

⑤八重山地域

八重山地域の新規就農者47人の経営類型は、その他が17人(36.2%)で最も多く、次いで肉用牛が11名(23.4%)、果樹が9人(19.1%)の順となっている。

表-4 新規就農者の経営類型(地域別)

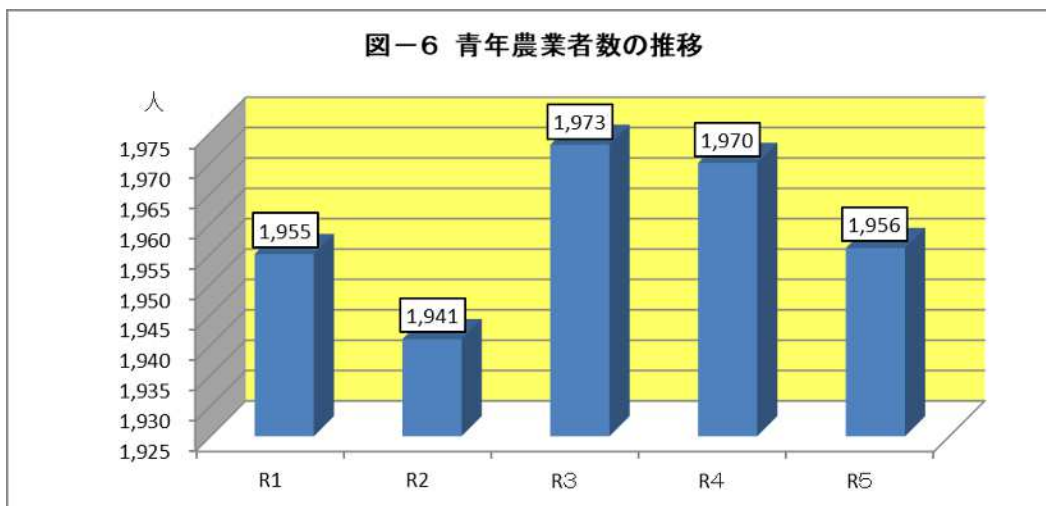
(単位:人、%)

	さとうきび	タバコ	野菜	果樹	花き	肉用牛	酪農	養豚	養鶏	その他	不明	計
北 部	3	0	20	32	6	3	0	0	0	14	0	78
構成比	3.8	0.0	25.6	41.0	7.7	3.8	0.0	0.0	0.0	17.9	0.0	26.8
中 部	7	0	30	11	3	1	0	0	0	5	6	63
構成比	11.1	0.0	47.6	17.5	4.8	1.6	0.0	0.0	0.0	7.9	9.5	21.6
南 部	1	0	32	4	4	2	0	0	0	3	0	46
構成比	2.2	0.0	69.6	8.7	8.7	4.3	0.0	0.0	0.0	6.5	0.0	15.8
宮 古	38	0	9	9	0	0	0	0	0	1	0	57
構成比	66.7	0.0	15.8	15.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.8	0.0	19.6
八重山	6	1	3	9	0	11	0	0	0	17	0	47
構成比	12.8	2.1	6.4	19.1	0.0	23.4	0.0	0.0	0.0	36.2	0.0	16.2
合 計	55	1	94	65	13	17	0	0	0	40	6	291
構成比	18.9	0.3	32.3	22.3	4.5	5.8	0.0	0.0	0.0	13.7	2.1	

2. 青年農業者

(1) 県全体の状況

令和6年の青年農業者数は1,956人となっており、前年の1,970人に比べ、14人(0.7%)の減少となっている。



(2) 各地域別の青年農業者の状況

①北部地域

令和6年の青年農業者数は561人で、前年比49人(9.6%)の増加となっている。

②中部地域

令和6年の青年農業者数は249人で、前年比1人(0.4%)の増加となっている。

③南部地域

令和6年の青年農業者数は522人で、前年比38人(6.8%)の減少となっている。

④宮古地域

令和6年の青年農業者数は295人で、前年比12人(3.9%)の減少となっている。

⑤八重山地域

令和6年の青年農業者数は276人で、前年比19人(6.4%)の減少となっている。

表-5 青年農業者の推移(新規就農者含む)

(単位:人、%)

	R2	構成比	R3	構成比	R4	構成比	R5	構成比	R6	構成比
北部	506	25.9	509	26.2	494	25.0	512	26.0	561	28.7
中部	225	11.5	224	11.5	233	11.8	248	12.6	249	12.7
南部	534	27.3	533	27.5	477	24.2	560	28.4	522	26.7
宮古	353	18.1	339	17.5	340	17.2	307	15.6	295	15.1
八重山	285	14.6	290	14.9	289	14.6	295	15.0	276	14.1
不明	52		46	2.4	140	7.1	48	2.4	53	2.7
計	1,955		1,941		1,973		1,970		1,956	

※構成比は小数点第2位で四捨五入しているため、合計と内訳が一致しない値がある。

※不明者48人は、雇用就農後に転職または独立した者の内、追跡調査が困難だった者

(3) 各地域別・経営類型別の青年農業者の状況

①北部地域

北部地域の青年農業者の経営類型は、野菜が176人（31.4%）と最も多く、次いで果樹が130人（23.2%）、花きが98人（17.5%）の順となっている。

②中部地域

中部地域の青年農業者の経営類型は、野菜が104人（41.8%）と最も多く、次いで花きが50人（20.1%）、果樹が30人（12.0%）となっている。

③南部地域

南部地域の青年農業者の経営類型は、野菜が288人（55.2%）と最も多く、次いで花きが66人（12.6%）、肉用牛53人（10.2%）となっている。

④宮古地域

宮古地域の青年農業者の経営類型は、さとうきびが116人（39.3%）と最も多く、次いで野菜が79人（26.8%）、肉用牛36人（12.2%）となっている。

⑤八重山地域

八重山地域の青年農業者の経営類型は、肉用牛が83人（30.1%）と最も多く、次いでさとうきびが65人（23.6%）、果樹48人（17.4%）となっている。

表-6 青年農業者の経営類型（青年新規就農者含む）

（単位：人、%）

	さとうきび	タバコ	野菜	果樹	花き	肉用牛	酪農	養豚	養鶏	その他	不明	計
北 部	27	11	176	130	98	67	0	5	4	40	3	561
構成比	4.8	2.0	31.4	23.2	17.5	11.9	0.0	0.9	0.7	7.1	0.5	28.7
中 部	8	0	104	30	50	25	1	2	4	11	14	249
構成比	3.2	0.0	41.8	12.0	20.1	10.0	0.4	0.8	1.6	4.4	5.6	12.7
南 部	25	1	288	40	66	53	17	3	10	12	7	522
構成比	4.8	0.2	55.2	7.7	12.6	10.2	3.3	0.6	1.9	2.3	1.3	26.7
宮 古	116	16	79	36	1	35	0	2	1	3	6	295
構成比	39.3	5.4	26.8	12.2	0.3	11.9	0.0	0.7	0.3	1.0	2.0	15.1
八重山	65	2	31	48	5	83	4	3	0	34	1	276
構成比	23.6	0.7	11.2	17.4	1.8	30.1	1.4	1.1	0.0	12.3	0.4	14.1
不 明	1	0	6	4	1	2	1	1	1	2	34	53
構成比	0.4	0.0	2.2	1.4	0.4	0.7	0.4	0.4	0.4	0.7	12.3	2.7
合 計	242	30	684	288	221	265	23	16	20	102	65	1,956
構成比	12.4	1.5	35.0	14.7	11.3	13.5	1.2	0.8	1.0	5.2	3.3	